

総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 府中町立府中小学校 教諭 吉長 愛

- 1 日 時 令和元年11月29日（金） 第5校時
- 2 学 年 第5学年 防災グッズグループ（男子17名 女子16名 計33名）
- 3 場 所 5年2組 教室
- 4 単 元 名 「自分の命は自分で守る・つながり支え合う命」

5 単元について

(1) 単元観

本単元は、地域の防災の取組について知り、災害時の身近な課題について調べ、自分や家族の命を守るために「自分にできること」という視点から自らの課題を設定し解決していくことを通して、本校で設定した資質・能力を育成することをねらいとしている。広島県は、昨年7月に発生した西日本豪雨災害により、大きな被害を受けた。本校の隣を流れる榎川も氾濫し、児童や地域の方々が校舎内で垂直避難を行った。そこで、本単元では児童にとって身近なこれらの体験を基に学習課題を設定することで、家族や地域の方々とながら支え合うためにという相手意識・目的意識をもって探究することができると思う。

また、探究の過程において、社会科「世界から見た日本」「自然災害から人々を守る」、理科「台風の動きと天気の変化」「流れる水のはたらき」の単元などに関わらせて探究的な活動を行い、「自分の力で解決することができた」「自分が学習したことが地域の役に立った」など、課題の解決に取り組んだことへの自信や自尊感情が育まれ、日常生活や社会への参画意識も醸成されると考え、本単元を設定した。

(2) 児童観

本学級の児童は、昨年度の総合的な学習の時間で、身近な環境について見学や体験を行い、自ら課題を見つけ調べたりインタビュー活動を行ったりしたことを、相手意識・目的意識をもってまとめ、発表する活動を経験している。

第5学年のテーマである防災については、毎年第5学年が学習し、学習発表会や防災フェスタなどで発表されたものをこれまで見聞きはしているものの、自分のこととして受け止めている児童は少ない。しかし、児童も昨年度の榎川の氾濫を経験し、避難したり復旧作業を手伝ったりする中で、いつどの地域でも起こりうる身近な課題であるとの認識はある。

昨年度の総合的な学習の時間の振り返りにおいて、自分の成長を自覚していない児童が本学年では多く見られた。その理由としては、自己評価しかできておらず、他者との相互交流によってよいところを認め合ったり、自分の学んだことに対する反応が返ってきたりという経験が少ないことから、「自分の力で解決することができた」「自分が学習したことが地域の役に立った」という実感が十分に得られていないことが考えられる。また、探究のプロセスの各過程で振り返りをしておらず、単元末のみにおいて振り返りをしていため、活動全体の振り返りになっており、自己の変容を自覚することができていなかったと考えられる。

また、今年度5月に行った自尊感情についてのアンケート（SOBA-SET）において、12.5%（32名中4名）の児童が否定的な回答をしていた。さらに、「いのちの教育」に関するアンケートでは、31.2%（32名中10名）の児童が否定的な回答をしていた項目もあった。

協働して問題の解決に向けた探究に取り組む活動については、これまでの総合的な学習の時間をはじめ、各教科においても経験してきている。しかし、積極性には個人差があり、一部の児童だけが活躍する場面も見られる。また、学習意欲があり自分の意見をもっているものの発言する勇気がもてず、話合いに十分に参加できていない児童の姿も見られる。

以上のことから、本校で育成を目指す資質・能力である知識・技能、表現力、自尊感情、協働性を育む必要がある。

(3) 指導観

指導に当たっては次の3点に留意する。

ア 表現力

【まとめ・創造・表現】

保護者アンケートの結果から見えた、地域や各家庭における防災の課題を解決していくことを目的に、まとめ・創造する活動を設定する。そして、地域の方々や保護者に読んでもらえるような防災ブックになるよう、地域に根付いた具体的な調査結果をまとめ、表現させる。

【振り返り】

探究的な学習の過程において、特に振り返りの場面の指導の工夫を行う。探究的な活動の各過程において他者との相互交流による振り返りを行い、よいところを認め合ったり、自分の学んだことに対する反応が返ってきたりという経験ができるようにする。また、探究の過程を自己との関係で「見つめ」「振り返り」「問い続ける」の三つの段階で振り返り、自己の変容を自覚できるようにする。

イ 自尊感情

前述の振り返りにおいて、他者との相互交流による「見つめ」「振り返り」「問い続ける」三つの段階を踏む振り返りを実現する方法として、本単元ではRound Studyを援用する。他者との相互交流による振り返りにより、よいところを認め合ったり、地域の方や保護者から自分の学びについて意見をいただいたりすることで、児童が「自分の力で解決することができた」「自分が学習したことが地域の役に立った」などを自覚することができるようにし、それらのことにより自尊感情を育むことができるようにする。

ウ 協働性

自他の良さを生かしながら協働して活動できるよう、次の3点を取り入れる。1点目は、課題設定に時間を取り「自分にできること」という視点から自らの課題を設定できるようにし、その課題を解決するための探究的な活動が主体的にできるようにする。2点目は、学年を解体し探究グループを結成することにより、同じような探究課題をもつ友だちと協働して探究的な活動ができるようにする。3点目は、探究グループのまとめ・創造・表現の場面において、同じ学級の友だちと小グループを作り、防災ブックのページを担当させることにより、一人一人が責任をもって活動できる場を設定する。

6 本単元で育成を目指す資質・能力及び評価規準

資質・能力	評価規準
知識・技能	地域の防災の取組を知り、つながり支え合うために必要なことや、自分にできることは何かに気付く。
表現力	【まとめ・創造・表現】 相手や場、目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に表現する。 【振り返り】 探究の過程において途中で一旦立ち止まって振り返り、考えを深める中で、自己との関係で見つめ、振り返り、問い続け、新たな課題を見付ける。
自尊感情	自分や友だちの良さや成長を確かめながら自分の生き方を見直し、実践しようとする。
協働性	自他の良さを生かしながら協働して課題の解決に向けた探究に取り組もうとする。

7 単元の目標

災害から命を守る取組を知り、災害時の身近な課題について調べ、他者との相互交流による振り返りを通して、本校で育成を目指す資質・能力である、知識・技能、表現力、自尊感情、協働性を育む。

8 指導計画

次	主な学習活動	評価規準（評価方法）	教科との関連
1	<p>課題の設定（24）</p> <p>単元の接続②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害について知っていることを出し合う。 ・昨年度の豪雨災害の時の状況を共有する。 <p>情報の収集⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小屋浦地域に住む教師の話についてスライド資料を見ながら聞き、実際の被害の規模や具体的な苦勞を知る。 ・損害保険会社の出前授業において非常袋の中身について、考える。 ・元消防士のゲストティーチャーから防災についての講話を聞く。 ・防災に関わる五つの体験を行う。 <p>整理・分析④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話を聞いたり体験したりしたことの中から校内の児童に伝えたいことを選ぶ。 <p>まとめ・創造・表現⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットにまとめ、校内に展示する。 <p>（探究のプロセスの各過程の振り返り）</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>地域の防災について知り、つながり支え合うために、必要なことに気付く。 （ワークシート・行動観察）</p> <p>【表現力】</p> <p>相手や場、目的や意図に応じて、自分の考えを表現する。 （リーフレット・行動観察）</p> <p>【自尊感情】</p> <p>自分の力でできたことや、周りの人の役に立ったことなどを自覚し、次時の目標をもつ。（振り返りシート）</p>	<p>社会科： 「世界から見た日本」</p> <p>道徳科： 「おばあちゃんが残したもの」 D－（19）</p> <p>理科： 「台風の動きと天気の変化」 「流れる水のはたらき」</p> <p>体育科 （保健領域）： 「心の健康」</p>
2	<p>新たな課題の設定（4）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の豪雨災害時にどのような対応をしたかについて各家庭にアンケートし、その結果から、疑問に思ったことや地域の人に知らせたいと思ったことなどについて、意見を出し合い、新たな課題を設定する。 ・同じような課題をもった児童同士で集まり、クラスを解体して新たに四つの探究グループを作る。 ・調べたいことを出し合い、調査の計画を立てて内容や方法を共有する。 <p>（探究のプロセスの各過程の振り返り）</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>保護者アンケートから本学年の家庭の実態を知り、災害時に、つながり支え合うために必要なことに気付く。（ワークシート・行動観察）</p> <p>【自尊感情】</p> <p>自分の力でできたことや、周りの人の役に立ったことなどを自覚し、次時の目標をもつ。（振り返りシート）</p>	<p>社会科： 「自然災害から人々を守る」</p> <p>道徳科： 「なれなかったりレーの選手」 A－（3）</p>
3	<p>情報の収集（10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿って、地域の方や保護者の方々と1回目の調査活動を行う。 ・調査結果から新たな調査課題を見付けたり、調査が足りない内容を見付けたりして、2回目の調査活動の計画を立てる。 ・1回目同様、地域の方や保護者の方々と共に2回目の調査活動を行う。 <p>（探究のプロセスの各過程の振り返り）</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>調査活動を行うことで、地域で災害が起きたときの被害想定を知り、つながり支え合うために必要なことや、自分のできることは何かに気付く。 （ワークシート・行動観察）</p> <p>【協働性】</p> <p>自他のよさを生かしながら協働して課題の解決に向けた探究に取り組もうとする。 （ワークシート・行動観察）</p> <p>【自尊感情】</p>	<p>体育科 （保健領域）： 「けがの防止」</p> <p>道徳科： 「わたしのボランティア体験」 C－（14）</p>

		自分の力でできたことや、周りの人の役に立ったことなどを自覚し、次時の目標をもつ。(振り返りシート)	
4	整理・分析 (6) <ul style="list-style-type: none"> 集めた情報の中から「学習発表会」で発表する内容、「防災フェスタ」で発表する内容、「防災ブック」にまとめる内容として適切な情報を整理・分析する。 これまでの学びを振り返り、次時に向けての課題をもつ。 	【協働性】 自他のよさを生かしながら協働して課題の解決に向けた探究に取り組もうとする。 (ワークシート・行動観察)	国語科： 「資料を生かして考えたことを書こう」
	本時 (探究のプロセスの各過程の振り返り)	【振り返り】 探究の過程において途中で一旦立ち止まって振り返り自己の変容を自覚する。(行動観察・振り返りシート) 【自尊感情】 自分や友だちのよさや成長を確かめながら自分の生き方を見直し、実践しようとする。 (振り返りシート)	
5	まとめ・創造・表現 (8) <ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートの結果や、その結果から設定した課題とその調査結果について、地域の方々に発信するための「防災ブック」を作る。 公民館やくすのきプラザなどに展示していただく。 (探究のプロセスの各過程の振り返り)	【表現力】 相手や場、目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に表現する。 (防災ブック・行動観察) 【自尊感情】 自分の力でできたことや、周りの人の役に立ったことなどを自覚し、次時の目標をもつ。(振り返りシート)	国語科： 「資料を生かして考えたことを書こう」
6	振り返り (4) <ul style="list-style-type: none"> これまでの探究過程について自己との関係で「見つめ」「振り返り」「問い続ける」三つの段階を踏んだ振り返りを行う。 (単元末における振り返り)	【表現力】 他者との相互交流における振り返りにおいて、単元の学びを自己との関係で見つめ、振り返り、問い続け、新たな課題を設定する。(ワークシート・振り返りシート・行動観察) 【自尊感情】 自分や友だちのよさや成長を確かめながら自分の生き方を見直し、実践しようとする。 (SOBA—SET・振り返りシート)	国語科： 「立場を決めて討論をしよう」

9 本時の学習指導過程

(1) 本時の目標

他者との相互交流による「整理・分析」までの学習の振り返りを行い、学んできたことを自己との関係で「見つめ」「振り返り」「問い続ける」ことにより、自分の力でできたことや、周りの人の役に立ったことなどを自覚し、次時の目標をもつことができる。

※目標を達成した児童の具体的な姿

他者との相互交流をしながら振り返りをしたら、自分の頑張ったことや役に立ったこと、身に付いた力がよく分かった。次の活動は学んできた力を生かして、地域の方々に分かりやすい防災ブックを作りたい。

(2) 本時の展開 (44/56)

段階	学習活動	○指導上の留意点 ◇発問	評価規準 (評価方法)
見 つ め (十 五 分 間)	1 前時までの活動を想起する。	○他者との相互交流の方法が一目で分かるよう、流れをプリントで配付し、黒板に掲示する。	
	2 本時のめあてと活動の方法を確認する。		
	他者との相互交流による振り返りをし、次の活動に向けて目標を立てよう。		
見 つ め (十 五 分 間)	見つめタイム1 (5分間) 相互交流の方法について (展開とマナー)の説明を聞く。	○黒・青・赤のマジックを用意する。	
	3 整理・分析までの自分の学びを見つめる。 見つめタイム2 (10分間) 4人グループを作り、学んできたことや考えたことを伝え合う。 模造紙に自分の意見を書き込みながら発言する。	○時間設定を行い、設定時間の2分前には合図をし、まだ意見を言っていない児童がいないようにする。 ○書きながら発言することに慣れていないため、グループを回りながら声を掛ける。	
振 り 返 り (十 五 分 間)	4 ホストを残して席を移動し、学びを振り返る。 振り返りタイム1 (7分間) ホストを残して席を移動する。 ホストは、訪れた人に見つめタイムの様子について模造紙を見ながら伝える。 新たな意見や模造紙に書かれた意見から考えたことなどを模造紙に書き加えながら発言する。	○初めの意見を黒で、新たな意見を青で書かせ、意見の広がりを目視で分かるようにする。 ○キーワードや大事だと思うものを赤で書いたり矢印でつないだりするよう声を掛ける。	
	5 テーマについて意見をまとめる。 振り返りタイム2 (8分間) 見つめタイムの席に戻り、他のグループでどんな意見が出たか報告し合い、テーマについてグループとしての意見を紙にまとめる。	○意見をまとめる視点として、「できるようになったこと」「この学習でこんな力がついた」「役に立った」を提示し、自己の変容を自覚できるようにする。	

問 い 続 け る (十五分間)	6 全体で意見を交流する。 問い続けタイム1 (10分間) 紙を提示しながらグループごとに意見を発表する。 示された紙を黒板に貼り，分類・整理する。 分類・整理された紙を見ながら，全体で意見を交流する。	○出された意見を分類・整理しながら掲示することで，類似する意見や，この学習で一番大切なことは何だったかが視覚的に理解できるようにする。 ◇自分の力でできるようになったことは何ですか。	【振り返り】 学んできたことを自己との関係で「見つけ」「振り返り」「問い続ける」ことにより，自分の力でできたことや，周りの人の役に立ったことなどを自覚し，次時の目標をもつ。 (行動観察・振り返りシート) 【自尊感情】 自分や友だちのよさや成長を確かめながら自分の生き方を見直し，実践しようとする。(SOBA—SET・振り返りシート)
	7 本時のまとめをする。 問い続けタイム2 (5分間) この時間の振り返りをする。 振り返りシート，話合いの内容などから，成果をまとめる。	○「今までよりこんなことを頑張れた」「この学習でこんな力がついた」「役に立った」という視点で振り返りシートに感想を書かせ，発表させる。 ○次時の課題について，まとめ・創造・表現場面での具体的な課題をもたせる。 ◇これからいよいよ調査して整理・分析したことを防災ブックにまとめていきますが，どんな防災ブックにしたいですか。	

10 板書計画

⑥	自分の命は自分で守る・つながり支え合う命	⑦	できるようになったこと	身に付いた力	周りの人の役に立ったこと														
	他者との相互交流による振り返りをし，次の活動に向けて目標を立てよう。		<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>														
⑧	相互交流の流れの確認	⑨	振り返りシートで振り返る。自由記述に「できるようになったこと」「身に付いた力」「周りの人の役に立った」の三つの視点で振り返りを書く。																
⑩	<table border="1"> <thead> <tr> <th>段階</th> <th>時間</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">見 つ め</td> <td>5分間</td> <td>相互交流の流れとルールの確認をする。</td> </tr> <tr> <td>10分間</td> <td>整理・分析までの自分の学びを見つめ，模造紙に書き込みながら発言する。(一人2分間)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">振 り 返 り</td> <td>7分間</td> <td>ホストを残して席を移動し，新たな意見や考えたことなどを書き加える。</td> </tr> <tr> <td>8分間</td> <td>元の場所に戻り，模造紙を見ながら意見をまとめる。1枚に一つの意見を書く。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">問 い 続 け る</td> <td>10分間</td> <td>全体で意見を交流する。</td> </tr> <tr> <td>5分間</td> <td>振り返りシートを使って振り返る。</td> </tr> </tbody> </table>					段階	時間	内容	見 つ め	5分間	相互交流の流れとルールの確認をする。	10分間	整理・分析までの自分の学びを見つめ，模造紙に書き込みながら発言する。(一人2分間)	振 り 返 り	7分間	ホストを残して席を移動し，新たな意見や考えたことなどを書き加える。	8分間	元の場所に戻り，模造紙を見ながら意見をまとめる。1枚に一つの意見を書く。	問 い 続 け る
段階	時間	内容																	
見 つ め	5分間	相互交流の流れとルールの確認をする。																	
	10分間	整理・分析までの自分の学びを見つめ，模造紙に書き込みながら発言する。(一人2分間)																	
振 り 返 り	7分間	ホストを残して席を移動し，新たな意見や考えたことなどを書き加える。																	
	8分間	元の場所に戻り，模造紙を見ながら意見をまとめる。1枚に一つの意見を書く。																	
問 い 続 け る	10分間	全体で意見を交流する。																	
	5分間	振り返りシートを使って振り返る。																	

11 準備物

模造紙，マジック（赤・青・黒各9本ずつ），相互交流の流れ（児童用プリント・掲示用），B4用紙
振り返りシート，タイマー